

地域メディカルコントロール協議会主催 「警察・消防連携シンポジウム」について

諏訪地域メディカルコントロール協議会事務局
諏訪広域消防本部 消防課 救急救助係 赤羽 慎二

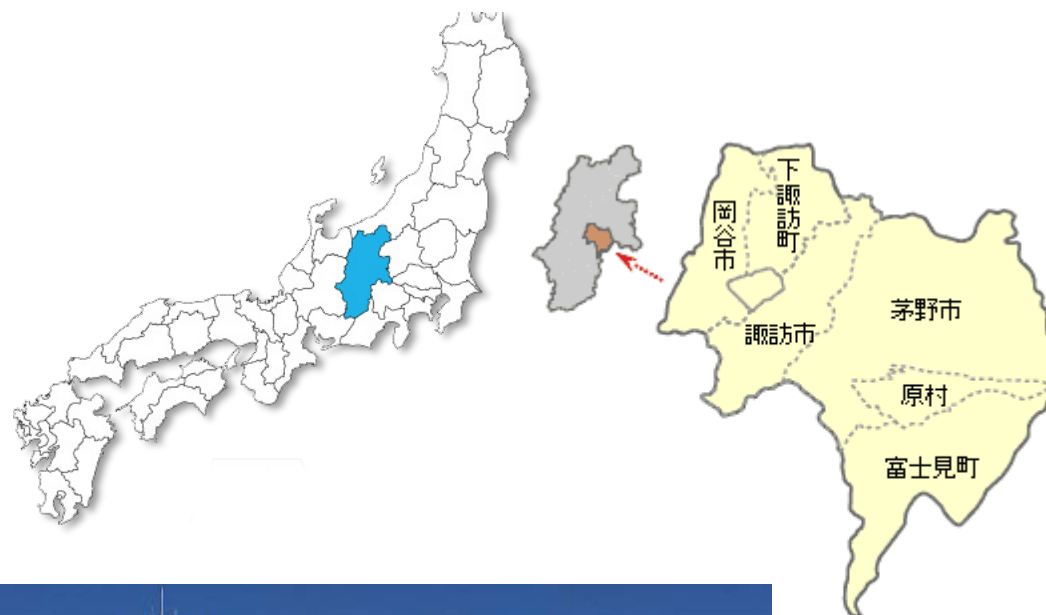


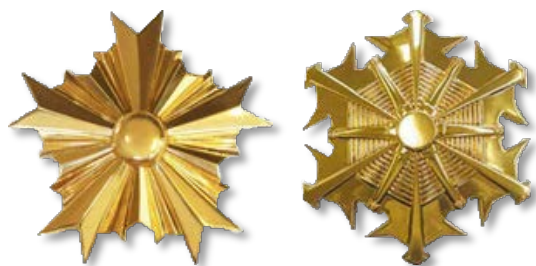
諏訪広域消防本部

SUWA WIDE AREA UNION

諏訪地域メディカルコントロール協議会

- 圏域市町村 6市町村(3市2町1村)
- 圏域人口 約20万人
- 救急出場件数 9059件
- 救急隊数 12隊
- 救急救命士数 91名





警察・消防連携シンポジウムの背景

交通事故やCPA症例等、救急現場において消防と警察機関が連携する機会が多い。しかし、双方の業務内容の理解不足から、現場で様々な混乱が生じている。医療機関を交えた中で、相互の任務内容を理解し、病院前救護体制の連携強化を図る。

第1回

【講演】 警察業務について

- ◆ 当直業務 10人未満(交番勤務含む) 刑事課:2名 交通課:1~2名
 - ◆ 交通事故発生時の対応 ①事故捜査 ②正常な交通の確保 ③広報
- 消防へ求めること
- ①ケガの状況 ②車両移動の確認 ③救助の状況

人命救助最優先

第2回

【パネルディスカッション】 交通事故事案、刑事事案

- ◆ 警察は緊急性がなければ緊急走行できない
- ◆ 傷病者への応急処置(CPR)は消極的
- ◆ 警察は基本的に搬送を希望



第3回

【パネルディスカッション】 刑事事案、交通事故事案

◆ 刑事事案における確認事項

・通報者の人定 ・負傷者の確認 ・臨床質問 ・目撃者の現場待機 ・警察官への引継ぎ

◆ 交通事故事案における確認事項

・通報は110番 ・車両部署位置

第4回

【体験型事例検討会】 加害事案、交通事故事案

◆ 消防、警察共に人命救助最優先

◆ 具体的な活動を通して、問題点が浮上

◆ 連携には研修会を継続することが重要



第5回

【パネルディスカッション】 交通事故事案、縊頸事案の現場保存

- ◆ 現場保存の重要性（現場写真、遺留品、所持品等）
- ◆ 覚知時間、現場到着時間の重要性
- ◆ 情報共有の重要性（氏名、年齢、性別、連絡先、程度、状況等）
- ◆ 警察官の応急手当

第6回

【シンポジウム】 山岳滑落事故事案

- ◆ 消防、警察、Drヘリ、病院間の情報共有
- ◆ 消防の現地指揮本部に参集
- ◆ 継続した意見交換



結 語

- 消防・警察・医療機関は、「国民の生命、身体、および財産を保護する」という共通の任務を遂行しているが、救命活動と捜査活動が競合する対立関係にもある。MC主催の意見交換を重ねることで、各機関の任務内容を理解し、現場活動時間の短縮や効率化に繋がった。
- 警察機関は人事異動があり、現場における共通認識の希薄化は避けられない。少しでも多くの警察官に共通認識を持って頂く為にも、研修会を反復し、顔が見える関係の構築を継続していくことが重要と考える。





ご清聴ありがとうございました

諏訪湖花火